



# オリーブニュース

北海道特別教区女性の会 第13期 第5号

会長 近藤雅子 2016年12月16日発行

## しばらくぶりに教区女性の会の交流会を行いました！

10月9日（日）18：30～20：30 札幌アспенホテルに24名が集いました。



（ソベリ牧師と星野淑江姉）



（小泉小枝姉）

讃美歌190番「主のみ名によりて集うところに 主は共に在まし 中に立ち賜う」を歌い、教区女性の会担当教職の日笠山牧師による開会のお祈りから始められました。

プログラムは下記のように進み、北海道の会員のみならず、札幌教会100周年記念礼拝に駆けつけて下さった浅見正一牧師・君江ご夫妻、フィンランドからビリピ・ソベリ牧師、星野淑江姉、それぞれに北海道特別教区婦人会の立ち上げやその後の活動、女性会連盟の働きに多大な貢献をして下さった方たち、現女性会連盟の会長芳賀美江姉、副会長根本明子姉が遠方からご参加下さり交流するととても恵まれた会となりました。

（河野久美子姉）



◇DVDによる学び 「女性会連盟の歴史と働き」

◇講演『一人の十歩より十人の一歩』

17期婦人会（現女性会）連盟会長：小泉小枝姉

◇連帯のメッセージ～熊本地震に関する報告

九州室園教会（元連盟役員）：河野久美子姉

◇日本福音ルーテル教会女性会連盟会長よりメッセージ：芳賀美江姉

最近、北海道女性の会のメンバーは連盟総大会にそれほど多く参加することが出来ず残念に思っていましたので、女性会連盟の歴史と働きについてDVDを事務局からお借りして上映、皆さん興味深くご覧になっていました。

引き続き行われた小泉姉の講演では、まさにその歴史と働きの一端を担われていらしたことを感慨深くお聞きしました。新しい発想もそれを実行する時には困難が生じてしまうこともありますが、皆の力を

合わせることにより、神様は道を開いてくださることを示してくださいました。

九州熊本の室園教会の河野姉からは熊本の近況が報告されました。今でも時折、余震が続き、油断が出来ない状況にあること、そして熊本市民の拠り所である熊本城の再建には多額の資金と何十年という単位での年月もかかりそうであるとのことでした。私たちの教区女性の会では連盟から呼びかけられた九州教区女性の会の熊本地震に係る活動費支援呼びかけに応じて、昆布会計から5万円献金致しました。

女性会連盟の芳賀会長、根本副会長もご参加くださり、今期の連盟が取り組んでいることなどお話をいただきました。連盟のつながりの中で北海道が祈られていること支援していただいていることを感謝して、本年も1万円を献金しました。まだまだ名残り惜しい気持ちの中、ソベリ牧師の北海道への思いがこもったお祈りで閉会いたしました。ホテルのご配慮により、北海道の食材を多く用いたメニューにお腹も満たされ感謝！

..... : : : : :  
.....

## 交流会 講演「ひとりの十歩より 十人の一歩」要旨

元(第17期)婦人会連盟会長 小泉小

枝

1. 私と連盟との繋がり  
「シマやのだしの素」から始まりました。  
☆修学院教会当時、連盟の負担金を払えないと悩んでいたら、天王寺教会の牧師夫人 7 期連盟会長の内海美智さんに「必要なお金は作るものです」と叱咤激励され、「シマやのだしの素」を販売して資金を生み出すことに踏み切りました。  
☆そうして出席し始めた連盟大会では神谷美恵子さん、高見沢順子さんはじめ素晴らしい講演を聞き、また信仰的にも人間的にも素晴らしい出会いが沢山あって、連盟大会に出席するのが楽しみになってきました。ある時当時の役員石橋恵子夫人から連盟総会の議長役をするようにとお話がありました。固辞すると「賢い人は角が立つけれど、ぼーっとしている人が良いのよ」と・・・役員会での打ち合わせで心を尽くして準備する姿に打たれました。出席者増を願って連盟のシンボルマークをデザインしバッジを作りました
2. 祈りに支えられるチームの働き  
☆13 回大会で副会長に選出された時、子供が小学生と中学生の4人。あのチームにはあなたが必要よ、祈っているからとの教区の方や連盟役員の方々に支えられ歩みました。連盟役員は支えられてするものと実感しました。17 期会長に選ばれた時は両親と主人の母(故小泉潤牧師)と一緒に、これからどうやっていこうかと青ざめました。そういう時にも必要な力と支えをいただき、良いチームが与えられたのは大きな恵みでした。そのようなことから連盟の働きはチームするものと思いますし、そのチームで育てられたと実感します。  
☆また16 期までは会長宅が事務局となっていて6 畳間は段ボールの山、電話は鳴りっぱなしの状態。やがて本教会にキャビネットを置かせていただけるようになりましたが不便の上なし。連盟事務局が欲しい、英文会報もあればと祈っていましたが、忍耐強い運動の中で実現しました。
3. 他者のために

☆女性は男性に比べて情緒的な細胞が沢山あるといわれます。ニュースで支援を必要とされる人のことを知らされても自分一人ではなかなか支援ができない。多くの人が無理なく賛同できることを見つけ、多くの人々の想いを一つにまとめて実行することが連盟役員の仕事だと思います。

13期の感謝献金は「あなたの食卓に一人の客を」の標語を下に「釜ヶ崎のベビーホームに台所を」「世界の赤ちゃんにミルクを」と呼びかけ、目標額の3倍を超える支援が出来ました。

☆17期には皆で連盟とは何かと考えました。連盟の仕事は“むくげ”の花をデザインした「連盟の花」のように5つの花びら。役員はめしべとして発信することを願っています。決してピラミッド型の組織ではありません。私もやってみようと思ってもらうことが連盟で働くということだろうと思います。

今に続く TNG 夏の子どもキャンプの前身「国際少年少女子どもキャンプ」を始めました。各教区の沢山の方々が子どもたちをバトンタッチしてキャンプに送り出してくれました。資金もなりふり構わずグッズを制作販売して作りました。サバ神学生支援が会員の心に届かなくなっているのを見て、神学生と神学校校長をお招きして各教区で交流集会を持ちました。会長として訪問したドイツのブラウンシュバイク州でも、世界祈禱日の為に毎年美しいスカーフを作って販売していました。

☆一人ひとりの力は小さいけれど、みんなの力を集めたら大きな働きになる、みんなが一步を踏み出してくれる。心を通わせてこのことの為に協力しましょう。それはまた、私たちの教会に来られる方にも伝えていきましょう。これが連盟の仕事。その思いを「連盟の歌」として60周年の総大会を記念して作り、歌い継がれています。みんなで歌いましょう。

「連盟の歌」

作詞作曲：小泉小枝

- |   |  |
|---|--|
| 1. 小さな花でも集まれば<br>大きな花輪になるように<br>あなたと私が手をつなぎ<br>主イエスのかおりの花束を<br>世界の友に届けつつ<br>平和願い共に祈ろう | 2. 小さな粒でも集まれば<br>大きなぶどうになるように<br>幹なる主イエスにつながって<br>豊かに結んだ愛の実を<br>世界の友と分かち合い<br>御国めざし共に歩もう |
|---|--|

・・・参加の方々から・・・

《札幌教会宣教 100 周年記念礼拝にお招き戴いて》

函館教会 野の花の会 齊藤 凱子

始めに教会建物の重厚感と礼拝堂内の空気に圧倒されました。それは歴代牧師と諸信徒、そして、先達の方々のさまざまな苦難や喜びを身近に感じ、不思議な感動をおぼえ、緊張と喜びをもって礼拝に与りました。又、愛餐会では親しく交わりに加えて戴き、諸先生方のユーモアあふれる温かな過去のお話や賀来先生が自給の為、雪の日バイクにチェーンを付け信徒宅を訪問し、献金を集めたエピソードは正に祈るだけでなく行動をもって示された現代版パウロと感動しました。社会制度が充実している日本、物が豊かな今、心むなしく救いを求めている方々に今こそ教会を知ってほしいと思いました。

前日の教区女性会交流会はアスペンホテルで行われ、連盟の仕事と歴史を学び、小泉小枝姉の「ひと

りの十歩より十人の一歩」必要なお金は作るもの、祈りに支えられるチームの働き、多くの方が無理なく賛同出来ることを見つける等、熱く話されました。さて、函館で私は何が出来るでしょうか。

最後にこの様な晴れがましい席は大変苦手な自分ですが、お招き戴いたこと感謝を持ってお礼申し上げます。札幌教会に神様の恵みと益々の発展を祈りつつ帰路につきました。



### 《交流会に参加して》

帯広教会すずらんの会 岡田ひとみ

交流会・100周年記念礼拝に出席する為、5年ぶりに高速を走ることになりました。無事に帰ることが今回の命題になってしまいました。それ位、教区女性の会の交流は重要で難しいものです。

連盟の働きをDVDで知ることができました。長い歴史の中、祈りに支えられて続けてきたことを覚ええました。又、連盟の会長をなさった小泉小枝姉の講演を聴き、個々の力は小さくとも集まったら大きな力になることを覚えてまいりました。今回は本当に東洋の小さな国を覚え、祈り支えてくださった多くの方々の働きにまなばせられました。信仰の継承の一つの形であること、祈り続けることの大切さを心新たにきざみました。

### 《教区女性の会に参加して》

釧路教会 岩瀬洋子

主の御名を賛美いたします。札幌教会宣教100周年記念礼拝と共に久方ぶりにお声をかけていただき、有り難うございました。皆様の嬉しい顔、優しい笑顔に迎えられ胸が熱くなる思いでした。また遠くからお越しくださいましてお元気な浅見牧師、ソベリ牧師との再会もとても嬉しく感謝でした。

「連盟の働きの歴史」のDVD、小泉小枝姉の講演の中“一人の十歩より十人の一歩”を通して自分一人ではなんにも出来ないけれど、小さな力も集まったら大きな働きになることがどんなに大切な意味をもつか心打たれました。そしていつも役員の方々のご苦労に感謝致します。

100年の歴史の中から誕生した女性の会。教会にとって、婦人の力は大きな働き人として活躍しています。少しでも多くの女性の人たちが共に祈り支え合って、横のつながりを持ちつつ長い歴史の中で“信仰の継承”を作り上げることが出来るよう共に祈っています。

200名余の記念礼拝に感動を覚え、ルーテル教会の信徒である喜びを心に刻みつつ帰路につきました。

「あなたの道を 主にゆだねよ。 主に信頼せよ。

主が成し遂げてくださる。」

詩編37編5節

### 《交流会に参加して》

札幌教会 松島直子

宣教100周年記念礼拝前夜、札幌アスペンホテルで、各地の女性会メンバーにお会いしました。

DVDでの連盟の歴史と、小泉小枝氏からの講演で、札幌教会の歩みに思いを重ねながら築かれてき

た活動の重みを感じました。

私はお隣の席の浅見牧師のご家族とお話しがはずみ、そこから得た恵みもありました。高齢化社会での看護のお話しでしたが、どの方にも手で触れて、目を見つめてお話をすることがどんなに大事か、これは今の教会のなかにも必要だと思いました。優しい手とまなざし、いつの時代もどこの場所でも、これは神様が私たちに示してくださっていることです。沢山のことに目が見えなくなって、隣人を見ていないのではないかと、いま自分に問いかけています。

///他のご参加の方々からの一言感想///

☆私にとってはこのような会に出席出来るのは非日常で、懐かしい方々やはるばる北海道まで来られ

た方々とお会いできて大変楽しかったです。

☆小泉さんの講演や河野さんのお話から、連盟についていろんなことを考えさせられました。

☆楽しい出会いや学ぶことも色々あり、嬉しかったです。

☆女性会連盟のことをやっと理解することが出来ました。お食事も大変美味しかったです。



**今年も昆布作業、楽しく無事に終わりました！** 今年は2,323パック完売。

毎年ながら、お買い上げくださった全国の皆さまと、パック詰め・発送作業をご奉仕下さった皆さま有り難うございました。今年も収益から下記のように様々な支援が出来ました。

教区女性の会会計繰入 15 万円。交流会旅費補助 68,193 円、ブラジル教会支援昆布 1 万円、神学校献金 1 万円

女性会連盟献金 1 万円、九州教区女性会熊本地震に係る支援献金 5 万円、札幌教会 100 周年記念献金 10 万円。

昆布を提供して下さっているご家族と、今年も順調に育った自然の恵みに感謝です。



(みなさん、慣れた手つきで楽しく作業していますね。)

**\* 最近の各女性会の様子 \*** 機会があれば、例会に飛び入り参加するのも良いかもしれませんよ！

函館 野の花の会

会長：泉 美和

11月はクリスマスの飾りつけを行なった為に例会はお休みでしたので、10月の内容をお知らせします。聖研は連盟会報をもとに学びました。先月、今月と男性の会メンバーも合同で共に交わり学びを深めました。ご夫婦で参加の方はそれぞれの思いを言いにくい所もあり、次回は是非女性だけで！と要望が出ていました(笑)

11月の仕事会で毎年恒例の“赤カブ漬け”20kg を作る予定を立てました。祝会の食事のお供に、また販売

して女性会の活動費になる為、とても大事な作業の一つです。クリスマス祝会メニューも相談しました。

## 帯広すずらの会 11月例会

会長：大金よし子

11/20 はアドベントに向けて礼拝堂の清掃、外の花の片付け、クリスマスの飾りをしました。

食事後にお豆の作業をしますのもうダッシュで！この日の司会・祈りの当番は石田姉。(あいうえお順)

- ・ 聖書の学び（連盟の聖書研究の箇所）
- ・ 食事の準備について
- ・ タオル帽子について（ラッピング、届ける日）

11/27 合同礼拝、 12/25 クリスマス祝会、 1/22 すずらの会総会 \*12月はお休み。

## 札幌教会婦人会

会長：松島直子

札幌教会婦人会例会はこんな風です・・・札幌教会では、第一日曜日に例会をまもります。

毎回、メンバーの一人から愛唱讃美歌を選んでいただき、自由にエピソードを伺ってから賛美をします。その時々で、選んだ方の歩みを分かち合うひと時となっています。次は連盟会報に沿って聖研。牧師からお話をいただいて自由に話し合う機会をもちます。ときに今の社会について考えること、個人の信仰生活で迷うこと、小説の話しがでることもあります。後半は連絡や行事についての話し合い、また毎月の昼食担当を決めています。今月は12月のクリスマスに向けて、祝会のメニューと担当を決めました。

ユーチューブを用いて、親しんでいる讃美歌がこんな風に歌われていることを鑑賞することもあり、そのまま賛美しながら家路についてしまいます。普段、ご都合で出席できない方もおられますが、讃美歌を紹介いただいたり、クリスマスカードを送ったり、祈りを合わせて歩んでいます。

////////////////////////////////////



### 11月15日は

### CFJ支援チャイルド、エライサちゃんのお誕生日でした。

皆さまより頂きましたクリスマスカード兼お誕生日カードは英訳してCFJ 経由でお送りしました。彼女の笑顔と成長の記録は私たちにとっても大きな励ま



しとなっています。これからもエライサちゃんの成長を見守っていきましょう。

尚、里子支援金 48,000 円は毎年4月にCFJチャイルドファンドジャパンに送金

していますが、今年度の最終決算では、支援額に対して皆様から寄せられた献金額は4000円程不足で前年度繰越金から補填しました。現在、教区女性の会への登録人数は27名。会員おひとりの献金額の見直しをお願いすると同時に、何らかの支援工夫もお寄せください！（札幌教会婦人会では会員からの献金の他に12月第1日曜日のうどん食堂純益3000円を献金して下さいました）

### \*これからの予定\*

役員会へのご提案をお寄せください。

来年2017年11月は、13期総会で決まりましたように教区女性の会の総会を開催します。

役員改選の年でもあります。道内の女性たちがつながり、祈りを合わせ、交流を深められるよう皆様の心をお寄せください。主のお導きを切に祈っています。

12/10（日）教区女性の会役員会

12/16(金)オリーブニュース第5号発行、役員会報告・新年度登録のお願い文書発送

1/15(日)北海道特別教区報への原稿提出締切

1/22(日)教区女性の会役員会(連盟会報担当ページ・決算・新年度計画・新年度登録・予算・総  
会提案)

1月下旬 会計監査

1月末 女性会連盟会報への北海道からの報告原稿提出締切

2月末 女性会連盟会報見開きページ(北海道特別教区担当)原稿の提出締切

**みなさまのもとに、**

**イエス様の光が満ち溢れますように！！**



**編集後記**::::::::::::

今年の北海道はあっという間に秋が終わり、冬が急ぎ足でやって来てしまいました。今年も残すところわずかとなってしまいましたが、今年は熊本の大地震があったり、北海道も台風によって大きな被害を受けてしまいました。本当に、日本は災害が多い国ではありますが、人々が困難な状況にあるときこそ、交流会での小泉姉のお話にあったように、一人の力はわずかですが、皆がつながることで大きな働きが出来ることを実証出来たらと思います。(M.K)